

**P2 / 会長のことば**

WASLI会長
デブラ・ラッセルから
近況報告

**P5 / 寄稿紹介**

日本福山市で開催される
第50回全国手話通訳問題
研究集会のご案内

**P7 / イベント情報**

ろう社会、手話学習、
翻訳・通訳研究の最新情報

**P8 / 特別寄稿**

国際翻訳家連盟FITから
国際翻訳デー2017の特別記事

WASLI newsletter.

no. 4 / 2017



HONOURING THE PAST 過去をたたえ
TREASURING THE PRESENT 現在を尊び
SHAPING THE FUTURE 未来を創る

PARIS, FRANCE フランス・パリにて

15-19 JULY 2019
2019年7月15日～19日

We are proud to share with you our next conference logo and theme.
次回の大会テーマ及びロゴマークをご紹介します。

President's words 会長のことば

Debra Russell
デブラ・ラッセル

親愛なる会員及びWASLIサポーターの皆さまへ

WASLI 会報最新号を読んでいただき、ありがとうございます。この会報のみならず、刊行したばかりの2015年WASLI会議紀要も一緒に楽しんでください。トルコ総会に参加した方の参加費には、議事録の購読料も含まれていますので、そろそろスタッフからリンクが送られると思います。購読希望の方は、HPから簡単に購入できます。編集に携わったスザンヌ・アーリックとイサベル・ヘイエリックのお陰で、議事録を予定通り完成することができました。ご苦労さまでした。また、原稿を寄せていただいた執筆者の皆さまにもお礼を申し上げます。

2019年WASLIパリ大会のロゴマークが理事会で承認されました。このロゴマークのデザインや色合いなどを気に入っていたければ幸いです。これよりもっと重要な話があります。それは会場の確保に関することです。2019年WASLI大会実行委員長ミッシェル・アシュレーは、パリ在住のWASLI会員の協力を得て、最適な場所を探しているところです。早いに越したことはないので、この大会の参加に向けて、早めに参加費用の準備をしていただければと思います。

地域代表の皆さんは地元の課題を取り上げたり、通訳とろうコミュニティの協働環境をよくするための研修会を企画するなど、地元の関心を高めるのに一生懸命です。去る2月、私はニュージーランドのウェリントンで南洋州オセアニア代表アンジェラ・マーレイと一緒に地元の会議に出席しました。その場に全国ろう協会「デフ・アオテアロア」の代表たちもいました。彼らはソロモン諸島とフィジーの手話通訳支援事業の見直しを行いました。デフ・アオテアロアは、地元の手話通訳者がろうコミュニティとの協働がうまくいくように、手話通訳者が地元の事情に詳しくなるための研修や技術演習など様々な模範事業を行っている組織です。この場を借りて、レイチェル・ロッカー・マッキー、ジョージ・メジャー、リンクスにお礼

を申し上げたいと思います。お陰様で、私は夜のプレゼンを二つ担当することができました。ウェリントンとオークランドで手話通訳者やろう者、関係者とお話できて光栄に思います。地元の方々から暖かく迎えられ、貴重な時間を一緒に過ごしていただいたことに感謝しています。

12月にスカイプを使って efsli のイバナ・ブッコ会長とWASLI欧州地域代表クリストファー・ストーンとビデオ通話を行いました。手話途上国に対するヨーロッパのような手話発展国の支援に力をつけて、有益な会話を交わしました。

北米代表リズ・メンドーサは、メキシコ、アメリカ、カナダなどの手話通訳者団体のリーダーたちと定期的に会議を実施しているようです。メキシコに於ける成果、特に手話通訳者認定制度に関する課題を期待しています。ストリート・レパレッジというインターネット・サイトから彼女とブランドン・アーサーとの対談をみることができます。内容はWASLIの国際学習についてです。

基金推進事業の協働パートナー、ビビ・モルダーとクリス・グルームズは、ナイジェリアで今月開催のアフリカ地域大会の資金作りに、GoFundMeというキャンペーンを実施し、大変忙しかったそうです。私のところに募金を寄せていただいた方々にお礼を申し上げます。我々のアフリカ地域代表ナターシャ・マリコも大会委員長ティム・ティナットも、アフリカの手話通訳者のために多大な時間を費やし、彼らが更なる成長の機会を得られるよう奮闘していました。限りのある資金をできるだけアフリカの派遣団の参加費に回すとか、一部の発表をビデオ形式にして発表者の旅費を節約するとか、様々な工夫をしていました。この有意義な大会と素晴らしい成果にお喜びを申し上げます。

2017年7月14～15日にパナマで開

催予定のWASLI理事会は、第2回ラテン・アメリカ手話通訳者大会と合同開催となります。参加費用が工面できない代表の皆さんは、ネット中継を通じてご出席ください。他の代表者との交流によって、成功事例を学習することができます。ラテン・アメリカ大会は面白い内容を組んであります。WASLIの理事も数名出席する予定です。WFD理事カイザ・アラーンとの共同発表を心より楽しみにしています。

われわれとWFDの連携関係は続いています。国際手話認定基準の共同委員会を設立しました。策定過程を定期的にフォローし、継続性のある改善案や、今後起こりうる国際手話通訳者の品行をチェックすることができます。委員長はクリストファー・ストーン博士です。リズ・スコット・ギブソンもボ・ハーデルも委員です。認定制度の新たな進展がそろそろ発表されます。2017年12月に発表されるWFD-WASLI国際手話認定制度の合格者に祝い申し上げます。今年の8月にプリズンで開催される国際翻訳家連盟総会での発表者に私とWFDのコリン・アレン会長が選ばれました。FITの総会で手話通訳というテーマがハイライトされるのは初めてのことです。基調演説者もジェマイナ・ネビア博士に依頼しました。認定制度の画期的なアプローチをご紹介したいと思います。面白い総会になりそうです。

WASLIとWFDは、国連人権高等弁務官事務所OHCHR宛の、障害者権利条約(CRPD)の見直しを要請する共同意見書においても連名関係にあります。訴訟手続きに於けるろう者のバリアとアクセス問題を解決するため、ブロの手話通訳者の同席を主張します。国連に対して、この共同意見書は国際レベルの結束を見せ、地元のコミュニティに一番密着する二大当事者であるろう者と通訳者から発する強いメッセージとなるでしょう。

5th Pacific Regional Conference on Disability in Samoa 第5回太平洋地域障害者大会inサモア

Australasia Oceania representative attends 南洋州オセアニア代表が出席しました。



多数の重要書類を 2017 年度中に見直したいと思います。WFD と 10 年前に交わした覚書も含まれます。目的は覚書の更新及び WFD 青年部(WFDYS)の見直しです。また、世界盲ろう連盟 (WFDB) にも接触し、三つの団体による三者連携の可能性を探ってみました。WASLI はすでに WFDB と覚書を交わしたのに対して、WFD はまだしていないからです。それから、少人数の作業部会を組んで、2007 年に作成した WASLI 通訳者教育指針や通訳者養成基本理念書を見直していきたいと思います。グループ・リーダーはレイチェル・ロッカー・マッキーです。

毎回申し上げますが、会長の私にはもちろん、各理事に対しても、皆さんからの暖かい支持に感謝しております。WASLI のために無償に働いてくれたことにお礼を申し上げます。手話通訳の専門化に向けて、我々は力を合わせてきました。WASLI が世界にもたらす変化をご期待ください。2017 年 1 月 1 日は会員登録の更新時期です。まだ更新していない方はすぐ更新手続きをしてください。その上、お知り合いにも呼び掛けてください。詳しくは HP の会員情報をご参照ください。

ご意見やご質問のある方は、私宛てにメールしてください。
president.wasli@gmail.com.

よろしく申し上げます。



第 5 回太平洋地域障害者大会は 2017 年 2 月 20 日～24 日にサモアの首都アピア市で開催されました。今回のろう者出席者数は過去のどの太平洋大会にも超えました。オーストラリアやフィジー、ニュージーランド、サモア、ソロモン諸島のろう者はもちろん、周辺各地の手話通訳者もアンジェラ・マーレイも見えました。WASLI の南洋州オセアニア地域代表は、諸島から来た通訳者や出席者に支援を送りました。

太平洋諸島で実施されている手話通訳訓練は散発的なものであり、ほぼフィジーに集中されています。今回の開催地はサモアにあったため、地元の通訳者 2 名は、フィジーやニュージーランド、オーストラリアから来たプロの通訳者と 1 週間同行し、いい経験となったそうです。「訓練と実践の機会がもっと必要」と彼らは言いました。

WFD 人権専門家グループ・コーディネーター、エレナ・ダウンが引率する

「太平洋周辺ろうコミュニティの現状」というパネル・プレゼンの中で、アンジェラ・マーレイは、「南洋州オセアニアに於ける WASLI の働き」について、WASLI を代表してプレゼンをしました。今回のパネリストには、インソア・ナバーニバル、フィジーろう協会のクリシニア・セン、サモアろうクラブのファリーシ・ロト、ソロモン諸島

う協会のアリ・バーナバス、オーストラリアろう団体のケリ・ミアース、フィジーの手話通訳者ゲール・セルを含めて、全部で 6 名でした。ろうの出席者はこの大会で大活躍しました。地元のサモア人ろう者サイモナ・サイマティは、オープニング・セレモニーでエフィ首相の前でサモアの伝統文化であるカヴァ (kava) を披露しました。ほかの方は分科会を担当したり、プレゼンを発表したり、パネリストとして自身の見解を述べることができました。

ろう者と手話通訳者の全員参加会議では、ろうコミュニティの課題が提起され、意見が交わされました。相互の協力と支援はもちろん、サモアで新たなろう協会を立ち上げ、ソロモン諸島ろう協会に支援を送ることが何より優先すべきだという結論に至りました。全体をまとめると、太平洋周辺に於ける手話の認識度及び社会性を強める必要があるとわかりました。

太平洋障害者フォーラムは、太平洋周辺のろう者がより生活しやすいように、情報・教育・雇用・公共サービスなど全分野に関わる専門倫理綱領の作成や熟練かつ有資格通訳者の育成など、WASLI 南洋州オセアニアが WFD オセアニアと並行進行している事業に対する支援を急がなくてはなりません。

この大会の開催模様は Youtube からご覧になれます。
<https://youtu.be/YZbwrkO-viw>.

Gallaudet University ギャローデット大学

The 2017 Symposium on Signed Language Interpretation and Translation Research

手話通訳翻訳研究シンポジウム2017

3月31日～4月2日の3日間、ギャローデット大学で手話通訳翻訳研究シンポジウムが開催されました。世界各地から学者や通訳者、学生などが集まり、手話通訳翻訳研究について、意見や議論を交わしました。

初日の基調講演者はベッピー・ヴァン・デン・ボグデル博士でした。2日目の開会挨拶はシャウヤン・シャウ博士で、閉会講演はロバート・アダム博士でした。シンポジウム期間中、36名の発表者が自分の研究成果を発表しました。WASLI 会長デブラ・ラッセルも（ジェマイナ・ネビア博士の合同発表者として）、WASLI 事務局長イサベル・ヘイエリックとソーシャル・メディア・コーディネーターのスザンヌ・アーリックも（ダウン・ウェスリングの合同発表者として）発表を行いました。



北米地域代表リズ・メンドーサとろう通訳アドバイザー、ナイジェル・ハワードがこのシンポジウムに出席してくれました。このシンポジウムを通じて、手話通訳研究の歴史や、ろうの仲介役と通訳の高い技能、ろう者の通訳を得る権利の歴史などを知ることができました。更に、通訳の質やろう通訳者、ニュースの手話同時通訳、ろう者の司法サービス利用、ろう者の陪審員義務などに関する研究は現在も継続中です。

手話通訳や翻訳に従事する者にとって、このシンポジウムは新しいアイデアに出会い、分かち合い、そして新たな連携パターンを生み出す大変ユニークなものだったでしょう。これらのことがギャローデット大学で一層感激しました。世界のどこにもこのような場所はないと思います。



一この度、サモア総会が終了して間もなく急死したエレナ・ダウン氏に対して、WASLIを代表して心からご冥福をお祈り申し上げます。エレナは障害者の人権問題を全力で取り組み、特にアジア太平洋地域のろうコミュニティのために尽力してきました。太平洋地域の障害者分野における彼女の長年の貢献に感謝し、その情熱を失ったことに大変残念に思います。

一日本手話通訳士協会副会長林智樹教授は2017年4月6日にお亡くなりになりました。林教授は日本手話通訳士協会の国際委員長として、WASLIの総会にもよくきていました。WASLIアジア大会の時はワークショップをいくつか取り組んでいただいたお陰で、素晴らしい大会になりました。ご冥福をお祈り申し上げます。



Call for Volunteers

ボランティアを募集します

TRANSLATORS

翻訳者

WASLIは多言語で情報を提供したいと考えております。

当協会に協力できる翻訳者を今只募集します。

英語をヒンディー語、ロシア語、ドイツ語に翻訳できる方は、

下記の詳細を明記の上、translations.wasli@gmail.comまでメールしてください。

※お名前、メールアドレス、得意言語(上記以外の言語も大歓迎)、言語能力レベルなど

Legal Interpreters for Deaf People in Serbia

セルビアのろう者に
司法手話通訳者が派遣されます

セルビアの法務省は17名の手話通訳者を「ろう者専属」の常任司法通訳者に指定しました。ここ20年来初めての出来事です。今までわずか3名のみが「聴覚障害者専用通訳」として登録されたと、裁判所の通訳者・翻訳者電子記録でわかりました。セルビア手話通訳者協会(ATSZI)は、ベオグラード市立ろう団体と連携し、手話使用法律を翻訳しました。これが地域のろう手話使用者と通訳者と共同で翻訳した最初の法律となります。

詳しくは
<http://gogb.org.rs/tvo.jpravno/zakon-otupotrebi-znakovnog-jezika>

65th Japanese Federation of the Deaf (JFD) National Congress in Fukuoka

第65回全国ろうあ者大会in Fukuoka

全日本ろうあ連盟が主催する全国ろうあ大会は2017年6月1日(木)~4日(日)に福岡市内で開催されました。

全日本ろうあ連盟は今年設立70周年を迎えます。WFDのコリン・アレン会長は大会の基調演説者として祝辞を述べました。WFDの理事の皆さんはパネリストとして、4つの分科会(手話、人権、情報アクセス、歴史)に参加しました。



50th National Assembly on Sign Language Interpretation in Japan

第50回全国手話通訳問題研究集会~サマーフォーラムinひろしま~

第50回全国手話通訳問題研究集会は日本の西部にある広島県福山市で8月18日(金)~20日(日)に開催されます。このフォーラムには、「障害者の権利」や「共生社会の実現」などに関する講義、手話通訳雇用者の労働問題に関する討論会、ろう者の日常生活から学ぶワークショップなどのプログラムがあります。



また、参加者には広島平和記念資料館や原爆を受けた広島市内を散策しながら、平和の尊さについて思索してもらう特別なプログラムも用意してあります。

このイベントは、日本国内のろう者や手話通訳者、手話学習者、行政関係者、医療専門家などの出席者を1000人以上見込んでいます。



WASLI African Representative has Called on the Nigerian Government to Make SL an Official Language

ナイジェリア政府に手話の公用語化を要請するWASLIアフリカ代表

アフリカの地域代表ナターシャ・マリコはこの間、第1回手話通訳・ろう者権利の地域大会 in アフリカの会場で、首都アブジャに向けて呼びかけました。この大会は、アフリカ手話通訳連盟、ろう人材センター、世界手話通訳協会 WASLI の共同開催でした。他の国のように、ナイジェリア手話を国の公用語にするには、ナイジェリア政府の政治的意志と適正な法律を制定する必要があると、マリコは話していました。

「連携はとても大切だと認識することが重要です。ろう者は通訳者の協力がなければ目標達成も将来性も望めません。ろう者がいなければ手話も存在し得ないです。我々はこの世界で共存しています。ろう者の完全たる社会参加とろう者の人権である手話の認識を実現しなくてはならない」と彼女は強調しました。

「ろう者は自分が社会の障害の一部だと思っています。ろう者は自分が言語と文化の少数派に過ぎないと考えています。我々と彼らの違いは使用する言語という点だけです。ろう者が社会から隔離される唯一の要因は手話の現状にあります。手話は我々の身体的な障害ではなく、我々が障害を持つ地域社会の一部であり、協力関係にあります」とナターシャは話しました。ナイジェリア政府に向けて、彼女は以下のようなメッセージを發しました。「我々が求めているのは、ナイジェリアろう者の窮状を改善する政治的意志と適正な法律の制定です。ナイジェリア政府は手話を国の公用語にしないてはなりません。」



©VoiceNigeria

African Forum of Sign Language Interpreters has been Created in Nigeria

ナイジェリアでアフリカ手話通訳者フォーラムが設立

第1回アフリカ地域大会の開催中に、アフリカ手話通訳者フォーラムが設立されました。

大会の目標は

- ・アフリカ国内の手話通訳者及びろう者のリーダーシップを強化すること
- ・ろう者の権利及び手話通訳者の育成を促進するために、AUDとAFSLIの地域活動を強化すること
- ・地域開発事業の一環として地方政府と連携を図ること
- ・人材・技術・物資などを共有できるように、アフリカのろう者及び手話通訳者に関わる全ての組織をリンクするネットワークを構築すること
- ・手話通訳及び手話方法論研究という分野に新しい実践技法と方向性を作り出すこと
- ・AFSLIとAUDの目標達成に向けて、WASLI、WFD、EUD、NAD、NAOBIと連携を結ぶこと

次回の大会は2018年ケニアのナイロビで開催予定です。



あなたの国には全国的な通訳者協会がありますか。
あるいはろう者協会の支援を得て、
協会を立ち上げようと考えていませんか。
それならWASLIの国会員になってみませんか。

2017年度の会員登録及び更新手続きはHPへどうぞ。
<http://wasli.org/membership>



Join us!



EVENTS

オーストラリア

第21回FIT - 国際翻訳家連盟世界大会
会場 プリスベン
日時 2017年8月3~5日
HP <http://www.fit2017.org>

デンマーク

第8回ろう学術会議
会場 オーフス
日時 2017年8月10~12日
HP <http://www.dac2017.com/>

フランス

EFSLI2017 年次総会及び大会
会場 トゥールーズ
日時 2017年9月8~10日

WASLI会議

会場 パリ
日時 2019年7月17~20日
HP <http://wasli.org/>

第18回世界ろう者会議

会場 パリ
日時 2019年7月23~27日
HP www.paris-wfd2019.org

ハンガリー

第3回世界ろう連盟国際中間会議
会場 ブダペスト
日時 2017年11月8~10日
HP wfdbudapest2017.com





INTERNATIONAL WEEK OF THE DEAF 2017

18 TO 24
SEPTEMBER

国際ろう週間2017 9月18日～24日

テーマ手話を用いての統合教育！

国際ろう週間2017のテーマは「手話を用いての統合教育」です。世界ろう連盟主催の第3回国際中間会議と同時開催となります。手話が社会に認められ、広く使われるようになれば、ろう者の完全参加は実現可能と信じています。

国際ろう週間2017は手話の重要性がポイントです。手話の確実な社会認知・普及・推進がなければ、国連の障害者権利条約も、最近採択された持続可能な開発目標2030も完全には達成できず、すべてが無意味になります。

CAMPAIGN KEY MESSAGES



BIRTH RIGHT

生育権利

基本的人権の観点から見る出生後の言語習得問題について、早期の言語取得は、ろうの子どものコミュニケーション力、認知力及び社会技能を改善することに繋がります。ろうの子どもは、生まれてすぐ手話を取得する必要があります。



DEAF IDENTITY

デフ・アイデンティティ

ろう者は、手話を母国語もしくは自然言語として用いてコミュニケーションをするような、文化・言語背景を持つ社会に属します。



ACCESSIBILITY

アクセシビリティ

ろう者が公共情報及び公共サービスを利用しやすくするには、手話通訳や字幕もしくは同時通訳を付与しなくてはなりません。医療、職業、社会福祉、行政機関などの公共サービスの利用を可能にする要素とは、手話通訳の提供及び手話通訳の利用です。



EQUAL LANGUAGE

言語の平等性

思想・構想・情感を表現する手段として、手話は有効な言語であることを、社会に認識させる必要があります。手話も独自の構文・形態・構造を持っています。言語としての要素は満たしています。1970年代後半以降に実施されてきた系統的な手話研究でも実証されています。



**FULL INCLUSION
WITH SIGN LANGUAGE!**

手話を用いての統合教育



EQUAL EMPLOYMENT OPPORTUNITIES

雇用機会の均等

手話のコミュニケーション能力及び手話通訳の供給があれば、ろう者はほぼすべての職種に就くことができます。重要なのは、ろう者にもやりたい職業や適応する職業に就く均等な機会が与えられることです。雇用の主要な障害は労働環境の不備であり、聴覚の障害ではありません。



BILINGUAL EDUCATION

バイリンガル教育

ろうの子どもにとって、バイリンガル教育はいかに重要なのか。そして、手話を用いることを前提に、いかに質の高いバイリンガル教育を実施するのか。各方面の関係者に早急に理解してもらわなければなりません。このバイリンガル教育は、手話を用いて全科目を指導しながら、自国言語の読み書きを教えることに重みを置く社会的文化的なアプローチとなります。



EQUAL PARTICIPATION

権利の平等

ろう者は個人的・公共的・政治的な場面において、一般の人と同様に参加する権利があります。そして、ろう者が「リアーダংশアップ」を担う機会が保証されるべきです。そうすれば、ろう者は自分の権利を主張し、自分の人生に関わるすべての意思決定に関与することができます。まさに「私たちのことを私たち抜きで決めないで」のスローガンです。



LIFELONG LEARNING

生涯学習

就職及び仕事を維持し自立するための資金を自力で稼げることは、一般教育、短期実習、継続的な訓練、能力開発などのプログラムを手に入れることがカギとなります。



WORLD FEDERATION OF THE DEAF



International Week
of the Deaf



DONATE

International Translation Day 2017

Translation and Diversity 国際翻訳デー2017 翻訳と多様性

デジタル時代において、一つの商品もしくはサービスが多国にわたったり、情報が簡単に国境を越えたりします。誰でも他の社会から考え方を押し付けられたくないものです。翻訳という作業は、どうすれば多様性を保ちながらすべてにアクセスしたいという欲求を満足させられるのでしょうか。

文化の多様性は言語の多様性と密接に結び付いています。言語を失うことは文化アイデンティティの一部を失うことを意味します。翻訳の重要性は、文化を保全すると同時に、文化から学ぶことにあります。

グローバルゼーションは国際協力の機会を増やす反面、文化を均一化に陥れ、多様性を脅かします。グローバルマーケットで成果を上げるには、自社の文化を全面的に押し付けるのではなく、顧客の文化に合わせて、自社の商品・サービスを共感されやすいように翻訳をしなければなりません。このような翻訳行為は、ローカリゼーションといい、多様性に繋がります。

言語は距離や国境、時間などの物理的障害を超越します。文学作品の翻訳や洋画の字幕・吹替のような特定文化媒体は、ローカリゼーションの部類ともまた違います。このタイプの翻訳行為は、発信源の文化を大衆向けに窓を広げるようなものです。地域文化への理解を深めさせたり、世界のもう一つの顔を見せたりして、一つの言語を通じて、他の文化を経験させるものです。

ローカリゼーションも文化源特定翻訳も高度な知性を要します。機械的な翻訳は二つの言葉・表現を単に変換するだけなのに対し、それぞれの文化を保ちながら他文化を学ばせてくれるような創造的翻訳作業は、熟達した翻訳者のみが成し遂げられるものです。

世界中どの文化も自分の運命は自分の手にあるべきだと考えるでしょう。言語と文化の多様性を推進することによって、われわれの社会は、多彩かつ輝く世界、学習の可能性に満ちる世界、相互理解に基づいた人間的な平和世界へと成長し、分かち合える社会へ邁進できると思います。国際翻訳デー2017を祝うことを通じて、多様性に大いに貢献している翻訳者の皆さんにお礼を申し上げます。

国際翻訳家連盟FITより

この会報の内容は、必ずしもWASLI理事会の意見を反映するものではありません。WASLIは内容の信頼性を厳密にチェックし、刊行した文章の訂正権利を保有します。WASLIは内容の正確性や意見の見解など一切責任を負いかねます。また、この会報の内容を引用する場合、情報源を明記する必要があります。写真を使用する前に、secretary@wasli.orgまでご連絡ください。

WASLI運営委員会

理事: デブラ・ラッセル(会長)、ジョゼ・エドニルソン・ソーザ・ジュニア(副会長)、イサベル・ヘイエリック(事務局長)、スーザン・エマーソン(会計)

地域代表: アンジェラ・マーレイ(南洋州オセアニア)、ナターシャ・マリコ(アフリカ)、モニカ・ブンジャビと梅本悦子(アジア)、デサンカ・ジジック(バルカン)、イサベル・レイ (ラテンアメリカ/カリビアン)、リス・メンドーサ(北米)、イゴール・ボンダレンコとアンナ・コモロワ(ロシア/スコルカサ)、クリストファー・ストーン(欧州)

WASLIボランティア

ろう通訳アドバイザー ナイジェル・ハワード

会員事務局 ロビン・テムコ

ソーシャル・メディア・コーディネーター スザンヌ・アーリックとクリスティ・フィリビッチ

翻訳コーディネーター ミシェル・チャン (文章翻訳、クリスチャン・ラースマンとアーカディ・ベロソフスキ (手話翻訳)

ホームページ バトリック・ガラソ

会報編集 ジョゼ・エジニウソン・ジュニア

基金促進委員 クリス・グルームズとビビ・ダラシー・モールド

教育ビデオ制作 シモーネ・ショール

総会実行委員長 ミシェル・アシュリー

FOLLOW US



www.wasli.org

CONTACT US

WASLI Office
7/211 Wellington Street
Collingwood Victoria 3066 -
Australia



WASLI

World Association of
Sign Language Interpreters



2015年WASLI会議紀要 どうぞ購読を!

WASLI理事会及び会議紀要編集者イサベル・ヘイエリックとスザンヌ・アーリックは誇りを持って、2015年のWASLI会議紀要を提供します。この議事録は、2015年WASLIイスタンブール会議のテーマ「人権～通訳者はどう関わるか?」に関する複数の発表が掲載されています。8つの代表的な発表は以下の課題を提起しました。「宗教活動に関わる通訳」「ろう者専門家向けの通訳サービス」「国際手話通訳」「通訳者を専門化へ導く新たなモデル」「ヨルダンやケニアのような国々の通訳者とろうコミュニティの課題」など。完全版はWASLIのホームページから購読できます。